

純粹持ち株会社へ再編

福山コンサルタント

交通ICTなど
新規は来期本格展開

に組織を再編し、純粹持ち株会社に移行する。組織再編ではFNBの管理部門を独立させ、研究開発部門をHMBと統合し、人材開発や経営マネジメントなども担う組織とする。また、M&A（企業の合併・買収）による新ビジネス領域の部門会社も傘下に置いた企業集団とする。

2017年1月上旬の持ち株会社設立に向けた準備を進めている福山コンサルタントは、17年6月期をめぐりコア事業の建設コンサルタント関連や新ビジネスなどの事業部門各社を傘下に置く純粹持ち株会社に組織を再編する。建設コンサルタント事業の強化と新ビジネス領域によるデュアルモード戦略で企業集団としての価値向上と持続的成長を図る。

4日に福岡市で開いた16年6月期第2四半期決算説明会で福島宏治社長が説明した。持ち株会社への移行準備は1月29日の取締役会で決議。9月の定時株主総会の承認を経て、17年1月上旬の設立を目指す。合わせて3月1日付で管理業務の集約管理と研究開発の事業化支援を担う子会社の福山ビジネスネットワーク（FBN、立石亮祐社長）を設立し、持ち株会社移行に向けた準備を進めている。

当面は福山コンサルタントの傘下に子会社の環境防災、モニタリング事業のヘルス・モニタリング・ビジネス（HMB）、FBNを置く持ち株会社とし、17年6月期をめぐり

具体的な事業展開として、コア事業関連では地方創生（総合戦略）や公共施設等再編計画、PPP・PFIなどの地域系分野、北陸新幹線関連、リニア関連などの鉄道系分野、震災復興支援で蓄積した建設事業マネジメント分野などを拡大する。特に、鉄道系は新たに鉄道グループの設置や鉄道関連企業への出向などで体制を強化し、2四半期に前年同期比2倍の受注高を達成した。

新規事業では、交通ICT関連の移動データ分析解析システム、自動車交通観測システム（藤井電業社、宇部興産）との共同を開発。ともにNETIS登録の準備、申請手続を進めており、交通データ収集から処理・解析まで一貫したシステムを来期に本格稼働させる。モニタリング事業は、橋梁モニタリング、水位センサーの両システムで実証実験を進め、同じく来期からの本格展開を進める。海外事業ではベトナムなどで案件化調査を実施しているほか、地場企業の海外進出支援など連携を強化する。

に組織を再編し、純粹持ち株会社に移行する。組織再編ではFNBの管理部門を独立させ、研究開発部門をHMBと統合し、人材開発や経営マネジメントなども担う組織とする。また、M&A（企業の合併・買収）による新ビジネス領域の部門会社も傘下に置いた企業集団とする。